

調布市市民活動支援センター

えんがわ だより

市民活動を応援する情報誌

2021.6 No.178

災害ボランティア養成連続講座

「えんがわファンド」助成先団体決定

特 集

災害への備え

災害ボランティアセンターと災害ボランティア



雨後の晴色またたのもしき

—— まちをより良くしたい 誰かのために何かやってみたい ——

当センターは、そんなあなたにそっと寄り添うため、「まちのえんがわになりたい」を合言葉に運営しています。「えんがわだより」は、調布のために活動する団体・ボランティアや寄付活動など、多彩な情報を紹介し、調布がさらに元気になることを願って、毎月15日に発行しています。活動のお問い合わせやご相談のほか、ご感想もお待ちしております。



災害ボランティア養成連続講座2021

調布での水害って？ その時自分に何ができるのか？

調布市総合防災訓練にもボランティア参加もします。

参加費は

500円



《講座内容》 調布での水害を考えます！

参加費は当日会場で徴収します

回数	日時	会場	内容	講師
第1回	7月 1日 (木) 19:00~20:30	市民プラザあくろす 2階 会議室①	調布市のハザードマップと 令和元年台風19号の被害について	調布市 総合防災安全課
第2回	7月 9日 (金) 19:00~21:00	市民プラザあくろす 2階 会議室①	令和元年台風19号 その時、災害 ボランティアセンターは！	市民活動支援センター センター長 高木直
第3回	7月 15日 (木) 19:00~21:00	市民プラザあくろす 2階 会議室①	水害の時、 市民ボランティアにできること	AAR Japan 野際紗綾子 氏
第4回	10月 31日 (日) 9:00~12:00	多摩川河川敷 総合防災訓練会場	「調布市総合防災訓練」 ボランティア参加	市民活動 支援センター職員

《対象者》 防災や災害ボランティアに興味のある調布市民（在学・在学可） **先着15名**

《申込方法》 お名前、携帯電話、メールアドレス、所属団体をメールで送信ください！

mail: npo-center@ccsw.or.jpまで送信してください。

6月22日（火）より受付開始（定員になり次第、締切となります。）

《お問合せ》

市民活動支援センター 電話：042-443-1220 Fax:042-443-1221 担当；高木.成田

◎新型コロナウイルスの感染状況によっては、講座の中止や変更となる場合があります。



「童謡を歌う会シンガーズ・グリーン」一緒に歌いませんか♪

専門の先生から、正しい発声を学び、コーラスを楽しんでいます。

【内 容】 童謡・唱歌から簡単な歌を中心に、

“声帯を維持しながらいつまでも健康で歌いたい♪”がモットー

【日 時】 7月10日（土）10:00~12:00 ※毎月第2土曜日

【場 所】 緑ヶ丘地域福祉センター 大集会室

【資 格】 初心者から、コーラスの好きな方ならどなたでも。一度ご見学下さい。

【備 考】 コロナ感染予防のため、入口での検温、消毒、マスク着用

（歌えるマスクのご用意あります）のこと

【問合せ】 緑ヶ丘コーナー折原（火・木・土）03-3326-4088



「2021年度えんがわファンド」助成先団体決定!!



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」でサポートする

市民活動支援センターの助成事業『えんがわファンド』の助成先団体が決定しました。

	助成先団体名	活動内容	助成金額
1	あおい発達障害当事者会	自分と似ている特性の方の具体的な対処方法や体験談を聞き、共感し合い、気持ちをほぐすための茶話会やレクリエーション、個人相談を行っています。	100,000円
2	調布ひきこもり家族会「やまぼうし」	社会からの孤独感に悩み、生きづらさを感じている本人や家族が、学習会や懇談会を通じて、心の安らぎを得て、自らを肯定できるようになることを目的に活動しています。	55,000円
3	セルフエスティーム	孤立した高齢者を減らしたいという想いのもと、人生の最後に自分が望む医療やケアを受けられるよう準備し、家族や関係者と共有する人生会議の啓蒙活動と、傾聴ボランティアを行います。	100,000円

えんがわファンドとは・・・

えんがわファンドは、調布のまちが暮らしやすくなるための活動や、社会の課題を解決するための活動、先進的な活動などを行っている調布のボランティアグループ・市民活動団体等を助成していき、このファンドをきっかけに、助成団体が新しい活動にチャレンジすること、他の団体と出会い新たなつながりが生まれることを意図しています。

骨盤矯正とヨガ

体と心を整えて、毎日の暮らしを気持ちよく！

骨盤を中心に体のゆがみを自分で整えていくセルフ整体プログラムです。（1回のみ参加もOK）

【開催日】①6月26日（土）首＆肩こり ②7月24日（土）慢性の腰痛
③7月31日（土）膝など関節の違和感 （開催日にそれぞれのテーマで行います）

【時 間】14：00～15：30

【対 象】おおむね60歳以上の方、医師による運動制限のない方

【定 員】各回15人（申し込み順）

【場 所】菊野台地域福祉センター 大集会室（菊野台1-38-1）

【持ち物】ヨガマット（ない場合は大型のバスタオル）、水、タオル

【参加費】各回500円

【講 師】北館 郁子 日本ヨーガ瞑想協会 登録講師、ベルヴィス®（骨盤）ワーク公認講師

【問合せ/申込】市民活動支援センター菊野台コーナー（火・木・土）042-481-6500

※マスクをして、窓を開けて換気をしながら行います。

ご自宅で検温し、当日体調がすぐれない方は参加をお控えください。



災害への備え

～災害ボランティアセンターと 災害ボランティア～

※[おしらせ]に令和3年度災害ボランティア養成講座
について情報がありますので併せてご覧ください。

近年、日本国内各地において台風や集中豪雨による土砂崩れや河川の氾濫、地震による大きな被害が相次いで起きています。台風シーズンと呼ばれる時期も近づきつつあり、地震については、いつ起きても不思議ではない状況になっています。

災害が起きると災害ボランティアセンター(以下、災害VC)が設置され、被災した方の支援にあたっています。

災害ボランティアセンター(災害VC)とは？

災害VCは、『災害が起きたときに、被災地(者)支援のためのボランティア活動を円滑に進めていくための拠点』です。皆様もマスコミなどで災害VCの名は耳にしているかと思いますが、災害発生時に被災地の市町村や都道府県の社会福祉協議会が、被災者支援のための災害VCを設置し、運営を行政や市民ボランティア、NPO等と協力して災害支援を行います。

調布市においては、災害が発生すると調布市からの要請により、調布市社会福祉協議会が、災害VCを設置することが協定書によって定められており、災害VCは、私たち市民活動支援センターが中心となって運営を行います。

また、調布市が定めている『地域防災計画』において、災害VCは調布市総合体育館に設置されることが決まっています。ただし、多摩川の水害などの場合には、その被害の規模と被災地域を考慮し、調布市と協議のうえ、別な場所に設置する場合があります。

過去の設置の事例

・味の素スタジアム被災者支援ボランティアセンター

東日本大震災時、調布市で直接的な被害はありませんでしたが、東京都や調布市、また各支援団体と協働して味の素スタジアムに『被災者支援ボランティアセンター』が立ち上がりました。

避難者の方々に対し、多くの団体や市民の方々がボランティアを希望され、炊き出し(食事提供)や生活用品の寄付、散髪、子どもの学習支援、遊び相手などの支援を行いました。

また、被災地である岩手県沿岸部への復興支援のため、友好都市である岩手県遠野市を拠点とした「ボランティアバス」を運行し、平成29年6月までに延べ41回、950人の参加がありました。

・令和元年 台風19号による調布市内の浸水対応の災害VC

10月12日に全国的な被害をもたらした台風19号の時、地域からの要請により災害VCが14日から設置されました。13日に市民自らボランティア募集を呼びかけ、14日には被災エリアに近い公園をベースに、ボランティアの受け入れ、活動先の調整などが始まりました。

その後、多摩川住宅ト号棟自治会様のご支援により、集会所を15日～20日の災害VC開設期間中お借りすることができました。具体的な活動としては、浸水被害のあった住宅の水没や破損した家財道具の運び出しや清掃、地域への案内チラシの配布などを行いました。

・社協職員は、災害が起きると応援派遣に行きます。

毎年のように全国各地で大きな災害が発生しています。災害が発生し、災害VCが設置されると、近隣の都道府県や市区町村の社会福祉協議会の職員が被災されたエリアへ応援派遣を行い、災害VCの運営をお手伝いしています。調布からも、近年では茨城県常総市や広島県呉市に応援に行きました。



令和元年度台風19号災害ボランティアセンターの様子

災害ボランティアの重要性

・自助、共助、公助...災害ボランティアの役割

災害が発生し大きな被害が起こると、被災された住民が自ら助け合うこと(自助)は、被災して疲弊している状況下ではかなり難しくなることが考えられます。行政機関が行う支援(公助)には、人員的にもすべての被災された方々の対応は難しく、限界があるため、それを補う人的な支援(共助)として、ご近所で比較的軽微な被災で済んだ方や、外部から支援に来てくれるボランティアの力が必要になります。

ただし、被災地で今何をするかが求められているかをよく考え、ボランティアの押し売りにならないように気を付けなければなりません。被災地に行く前の情報収集はとても大事です。

また、被災地に行く前に自分の居住地でボランティア保険に加入してから活動に向かいましょう。

・寄付をすること

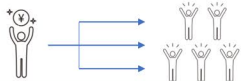
災害が起きると、様々な寄付が募られます。

お金で考えると「義援金」が被災された方々に直接渡される用途として、被災地の行政機関や共同募金会、社会福祉協議会などが集めることが多いと思います。また最近では「支援金」として、被災地支援の活動をしている様々な団体の活動資金の募金も行われることがあります。

被災された地域では、生活必需品などの物品寄付の募集が行われることがあります。こちらでも、現地で行われている必要品の情報をしっかり確認してからを送ることが大切です。個人の判断で何でも届けばよいというわけではありません。

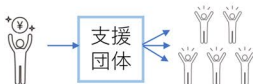
義 援 金

被災者の方へお悔やみや応援の気持ちを込めて贈るお金
赤十字、赤い羽根共同募金、自治体、TV局などが受付



支 援 金

応援したい団体、関心がある分野の団体を自分で選んで
寄付し、被災地の支援に役立ててもらおう金



・コロナ禍での地域ボランティアの重要性

現在、全国で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。コロナ禍においては、感染拡大予防の観点から、被災された都道府県内(状況によっては同一区市町村内)に限ったボランティア募集になっています。

この状況を考えると、自分の居住地で自分のことで災害ボランティアとして活動されることが求められています。

※災害はいつ起こるかわかりません。自分自身が被災者になるかもしれません。

でも、災害時に少しでも動けるようであれば、周りの被災された方々の手助けをお願いします。災害VCでのボランティア参加もお待ちしております。

ボランティア だより



1

小学3年生男児の送迎ボランティア募集

「調布特別支援学校」に通学する男児を下校時に学校から放課後等デイサービス「ぴっころ」まで、またデイサービス終了後は、ご自宅まで送るボランティア活動です。

【内容(1)】 調布特別支援学校から、放課後等デイサービス「ぴっころ」(総合福祉センター)までの送迎。1回15分程度。

【日 時】 毎週火曜日 15時15分に調布特別支援学校にお迎え。



【場 所】 調布特別支援学校(調布ヶ丘1-1-2)

【内容(2)】 放課後等デイサービス「ぴっころ」から、自宅(調布市国領8丁目)まで送迎。1回30分程度の活動。

【日 時】 毎週火曜日 17時前後に放課後等デイサービス「ぴっころ」にお迎え。

【場 所】 総合福祉センター(小島町2-47-1) 自宅(調布市国領町8丁目)

【備 考】 活動は、(1)もしくは(2)のどちらかでも大丈夫です。初回は職員が同行して体験送迎から始めます。



【問合せ】 小島町コーナー 浅見 042-481-7695

2

運行サービスボランティア

公共交通機関の利用が困難な方のために福祉車両を運転し、外出を支援する活動です。

【場 所】 NPO調布ハンディキャブ事務局

【資 格】 普通自動車運転免許(過去2年間に免許停止処分を受けていない方)

【対 象】 30歳～73歳

【備 考】 福祉有償運送に必要な資格講座費用(2日間)は当法人で全額負担します。

(講座費用7,000円～15,000円程度。受講時は自己負担していただき、当法人で運転活動を開始した段階で全額ご返金いたします。)修了証受領で福祉有償運送の資格が得られます。わずかですが謝礼金を差し上げます。



【問合せ】 NPO調布ハンディキャブ事務局 042-440-3860

ーあなたの想いを地域の力に！ボランティアガイダンスを開催します！ー

【日 時】 6月24日(木)13:30～14:30

【日 時】 7月28日活動(水)10:00～11:00

【会 場】 緑ヶ丘コーナー

【会 場】 小島町コーナー

【問合せ】 03-3326-4088 (折原)

【問合せ】 042-481-7695 (浅見・佐藤)

※事前にお電話にてお申込ください

・ご参加の際は、ご自宅での検温、マスク着用、手指の消毒にご協力ください。

・当日体調がすぐれない場合は、無理をせず参加をお控えください。



市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。



富士見コーナー 継続は力なり

ちょうふ読み語りの会（読み聞かせボランティア）

地域住民ボランティア有志が平成10年より、調布市内の高齢者施設で読み聞かせを開始しました。その後障がい児のデイサービス施設、保育園でも定期的に活動。単発イベントや福祉施設での読み聞かせにも対応し、聞く方にあった図書や紙芝居の選定や声掛け、手助けを行って来ました。

永年の活動が東京の社会福祉の発展に功績したと認められ、令和2年12月の東京都社会福祉大会で表彰されました。「新しい生活様式」に合わせ、時にはボランティア活動を自粛することもあります。メンバー10人の読み聞かせへの情熱は、まだまだ続きます！

（おかざわ）



染地コーナー 新しい生活様式へ - 染地の取り組み -



染地は市内でも高齢化率が高く、日頃から孤立を無くすため、様々な活動を通じた住人どうしの見守りが活発な地域です。ところが「新しい生活様式」の導入により、今までのありふれた日常が突然奪われてしまいました。「どうしたら新しい様式の中、人はつながることができるのか？」染地地域を担当する支え合い推進員、地域福祉コーディネーターと連携、模索する日々が続きました。

そんな中「子どもと孫と会えず、スマホの使い方をきくことができない」「家具を移動したいけど手伝わってもらえない」「引っ越しするのにこの年になると保証人をお願いする人がいない」等々相談が多くありました。3人で試行する中で、地域の方達のご協力を得て下記の取り組みをスタートしました。

- ①スマホにつまずいたら「スマホちょっと相談室 染地」開催
 - ②地域住人の困りごとのお手伝いのしくみづくり「たまの手」開始
 - ③司法書士さん、地域包括の協力を得て連続講座を検討中
- 生活に不便を感じている方！どうぞ染地コーナーまでお問い合わせください。
※詳細は、9月号「えんがわだより」特集記事で紹介予定です。

（わたなべ）



センターと各ランチへのアクセス

●市民活動支援センター



調布市国領第2-5-15 コクティ2F
Tel : 042-443-1220
Fax : 042-443-1221
Mail : npo-center@ccsw.or.jp
開館時間 : 8:30 ~ 22:00
休館日 : 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



調布市小島町2-47-1
総合福祉センター2F
Tel : 042-481-7695
Fax : 042-481-6611
Mail : kojimacho@ccsw.or.jp
開館日時 : 月～金曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 佐藤・浅見

●染地コーナー



調布市染地3-3-1
染地域域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-3790
Mail : somechi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火～土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 渡邊

●西部コーナー



調布市上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-426-4335
Mail : seibu@ccsw.or.jp
開館日時 : 火～土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 浦井

●菊野台コーナー



調布市菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-6500
Mail : kikunodai@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 青木

●富士見コーナー



調布市富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-8719
Mail : fujimi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 岡澤

●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
Tel/Fax : 03-3326-4088
Mail : midori@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 折原

●野ヶ谷の郷



調布市深大寺東町6-27-3
Tel/Fax 042-481-1838
開館日時 : 火・木・土曜日
10:00 ~ 16:00

ボランティアさんで運営する地域の居場所
「であい・ふれあい・支えあい」

野ヶ谷の郷から、



「日、野草園でみどりの葉をみていたら、
先亡き母を思い出した。ここが好き
だったなあ……。野ヶ谷の郷も誰かの
思い出を浮かべられる場所をめざしたい。
そのためには早くコロナウイルスの心配が
なくなってほしい。」



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する
えんがわファンドサポーター募集中 **1口3,000円**



会費は、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。
「調布のまちをあなたが変える」そんな1歩を踏み出してみませんか？